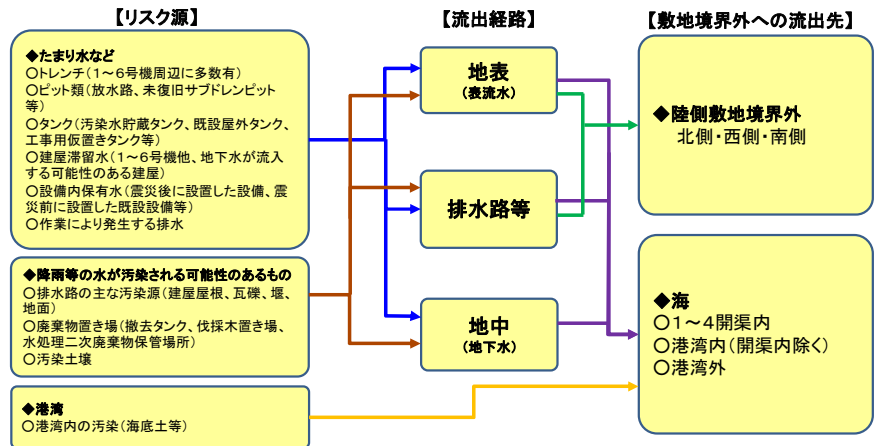


リスク総点検の進捗状況

- リスク総点検では、福島第一の敷地境界外に影響を与える可能性があるリスク源を抽出し、流出経路（液体）や作業（ダスト）を考慮して190項目に整理しました。（対応の進捗や内容に応じ都度分割・統合等を行っており、現在は201項目）
- 上記201項目は、5つのカテゴリ（①調査が必要、②対策が必要、③対策実施中、④対策実施後の状況観察中、⑤現状では対策不要）に分けるとともに、一つ一つの項目についてスケジュールを作成し、管理しています。
- 今後、追加対策等を実施し、敷地境界外に影響を与えるリスクの更なる低減を図ると共に継続的に見直して参ります。

対象項目の整理

□ 対象項目の抽出に当たっては、リスク源の配置や想定される漏えい状況に応じ、敷地境界外に流出する経路を整理しました。



<敷地外への流出の可能性がある経路(液体)>

項目別進捗状況(例)

リスク総点検管理番号	リスク存在箇所	リスク内容	対応概要	対応スケジュール								
				10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月以降		
110	サブドレンピット No.16	・ピット内から周辺地下水への流出 ・豪雨時の地下水位上昇による溢水	サブドレンNo16ピット水の放射能濃度を低減する為にピット内の水を汲み上げ、放射能濃度低下を促す。									
19-2 (16-3)	1/2号排気筒ドレンサブピット	スタック内の雨水が、筒身内線源と共にスタックサブピットに流入し、ピットより溢れ、周辺地盤に流出して汚染を拡大する可能性がある。	【H27年度】 ・サブピット周辺調査、排水方法の検討。 ・高線量のため遠隔操作の重機等を検討する。 【H28年度以降】 水位・水質調査、排水の実施等			調査						
63 (11)	各瓦礫類一時保管エリア	北側瓦礫置場の汚染が雨水で海に流出する。瓦礫類に付着した放射性物質が、降雨時に瓦礫表面から雨水へ移行し、側溝等(地下浸透含む)を経由して環境へ放出される。	【調査概要】雨水による瓦礫類に付着した放射性物質の拡散リスクの有無を確認するため、一時保管エリア内での雨水の放射性物質濃度を確認する。なお、調査にあたっては瓦礫と雨水が直接接触する保管形態の中から、汚染状況(表面線量率)を考慮し、代表エリアを選定する。			調査						

<11月報告分>

カテゴリ別進捗状況

カテゴリ	件数		備考
	2015.4公表時点	2015.10時点	
① 調査が必要	56※1 (45)	46	(1)調査の結果、対策が必要と判断した件名 :6件(②に移行) (2)調査の結果、対策が必要と判断し、対策実施中の件名 :2件(③に移行) (3)調査の結果、対策が必要と判断し、対策が完了した件名:1件(④に移行) (4)調査の結果、対策が不要と判断した件名 :1件(⑤に移行)
② 対策が必要	21	18	(5)対策に着手し、現在実施中の件名:8件(③に移行) (6)対策に着手し、完了した件名 :1件(④に移行)
③ 対策実施中	55	55	(6)対策が完了した件名:10件(④に移行)
④ 対策実施後の状況観察中	47	59	
⑤ 現状では対策不要	22	23	
合計	201(190)	201	

※1:「調査が必要」な項目については対応の進捗や内容に応じ都度分割・統合等を行っている。
(括弧内の数値は4月公表時点の項目数)

番号	リスク総点検管理番号	リスク存在箇所	リスク内容	対応概要	対応スケジュール							
					10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月以降	
1	113	1号機放水路(出口を閉塞済)	・放水路壁劣化・損傷により地中に漏出	(a)たまり水の浄化:吸着材の設置(暫定対策) (b)放水口へのゼオライト土壌設置 (c)浄化装置による浄化								
2	114	2号機放水路(出口を閉塞済)	・雨水流入により溢水・ピット劣化・損傷により地中に漏出	(a)たまり水の浄化:吸着材の設置(暫定対策) (b)ピット劣化・損傷により土壌設置 (c)浄化装置による浄化								
3	115	3号機放水路(出口を閉塞済)	・雨水流入により溢水・ピット劣化・損傷により地中に漏出	(a)たまり水の浄化:吸着材の設置(暫定対策) (b)放水口へのゼオライト土壌設置 (c)浄化装置による浄化								
4	157-3	集中RW重油タンク 集中RW軽油タンク 海生物処理設備重油タンク	危険物の漏えいのリスクがある。	重油・軽油タンクについては、タンクより抜き出し、危険物貯蔵庫へ保管。								
5	110	サブドレンピット No.16	・ピット内から周辺地下水への流出 ・豪雨時の地下水位上昇による溢水	サブドレンNo16ピット水の放射能濃度を低減する為にピット内の水を汲み上げ、放射能濃度低下を促す。								

<③対策実施中進捗状況抜粋(10月報告分)>